

調布市教育委員会様

学校名 調布市立杉森小学校
校長氏名 濱松 章洋
(公印省略)

令和8年度 特別支援教室の教育課程について(届)

このことについて、学校教育法施行規則140条の規定に基づき、特別支援教室による指導の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 特別支援教室の教育目標

互いのよさや違いを認め合う人権尊重の理念を基調とし、情緒の安定を図りながら、障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服を通して、心身の調和的な発達と人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- 思いやり 助け合う子ども【相手意識・感謝の心】(*1)
- ◎自ら考え 進んで学ぶ子ども【主体性】(今年度の重点目標)(*2)
- 元気で 丈夫な子ども【心身の健康】(*3)

2 教育目標を達成するための基本方針

児童一人一人の力を最大限伸ばすために、児童の障害の状態及び発達段階や特性を的確に把握し、個別の教育支援計画及び個別指導計画(自立活動の内容)に基づいて適切な指導を行う。

- ・体験的な活動を通して、他者と関わる際の具体的な方法を身に付けられるようにする。(*1)
- ・安心できる環境の中で、自分自身の課題に対し、自分で選び、決め、伝え、うまくいかなければ修正できる力を育てる。(*2)
- ・他者との安定した関係を形成し、主体的かつ適切に表出する経験を積み重ねる。(*2)
- ・得意なことを生かしたり苦手なことへの対処の仕方を決めたりして、成功体験を増やして自己有用感を高める。(*3)

3 指導の重点

教師との信頼関係を形成し、情緒の安定を図りながら障害による種々の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図る。

- ・ロールプレイやグループワークにより、相手を意識した心地よい関わりができるようにする。(*1)
- ・人とやりとりする楽しさを味わわせ、自ら関わろうとする意欲を育てていく。(*1)
- ・場や状況に応じた適切な言動を理解し実行する能力の育成を図り、自分の感情を適切な言葉で伝えたり選択肢などで伝えたりする経験を積み重ねていく。(*2)
- ・一人1台モバイル端末を効果的に活用し、自分の考えを発表するなどして、学習上又は、生活上の困難を改善・克服させていく指導を行う。(*2)
- ・苦手なことにチャレンジしたり、できることを増やしたりして、自分のよさに気づき、自己肯定感を高める指導を行う。
- ・姿勢保持や身体、手指の動かし方等の基本的技能の習得、改善をめざす指導を行い、学習の基盤となる心身の状態を整える。(*3)

4 その他の配慮事項

- ・在籍学級と特別支援教室の連携型個別指導計画を、在籍学級担任及び巡回指導教員が相互に共有できる場を設定し、指導に生かす。
- ・学級担任との密な情報交換や在籍学級訪問を行う。校内研修を通して、全教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図る。
- ・特別支援教室の環境整備の充実を図るとともに、特別支援教室専門員や巡回相談員と連携し在籍学級担任、保護者、関係諸機関との連携を図り、指導の充実と児童一人一人に応じた体制を構築する。
- ・臨床発達心理士、作業療法士、言語聴覚士等の専門家の助言を児童の指導に生かすとともに、巡回指導教員の専門性を高める。
- ・特に必要がある時は、各教科の内容を自立活動と関連付けて取り扱う。
- ・年3回の保護者面談に加えて、保護者会での懇談や保護者会講演会を実施することにより、保護者との連携を深めていく。